

各分野で活躍する人にインタビュー

◆輝いています◆

第57回技能五輪全国大会「抜き型」金メダル獲得!!
(株)デンソー ちから
水谷 恭良 さん(18歳・篠目町出身)



ものづくりに携わる23歳以下の精鋭1239人が、42職種に分かれ技能を競った今年の技能五輪。篠目町出身で(株)デンソーに勤務する水谷さんが、「抜き型」職種で見事金メダルを獲得しました。

◆おもちゃを改造して遊んだ

3兄弟の真ん中で、幼い頃はいつも2歳上の兄とプラモデルを作ったり、バトル用のコマを改造したりして遊んでいました。「これはどう作られているんだろう?」と、常に関心はおもちゃの構造や性能に向いていました。この頃から今に至るまでずっと、ものづくりが大好きなんです。

作野小から篠目中に進み、中学卒業後の進路には、迷いなく兄が在籍していたデンソー工業

学園(※)を志望しました。

◆兄との遊びが今につながる

学園の2年時に、技能五輪出場を目指す候補生に選出され、実習に没頭しました。求められるレベルに到達できず何度も落ち込んだものの、乗り越えられたのは、同じ練習量でいかに人より多くの技を身につけるかを常に考えていたからかな。幼い頃の兄との遊びのおかげで手先が器用でしたし、「真似する力」がついていたことも技の習得にはプラスでした。

◆ミクロン単位を手で感じる

「抜き型」職種は、精密な機械部品を製造するための金型を作る部門。金属材料を機械で加工した後、ミクロン単位の誤差を

手で感じ取りながらヤスリ等を使って仕上げます。競技時間は7時間を超えます。実力を出し切った手応えはあったものの、結果発表時は嬉しくて仲間と抱き合って喜びました。コーチや両親も涙を流して喜んでくれました。

次の目標は、プラスチック金型での五輪出場。ゼロからの勉強が始まりますが、新たな挑戦にワクワクしています。



競技中の水谷さん▼

※(株)デンソーが運営する、職業訓練を行う企業内訓練校。